かなア 大化芸術関係の 大化芸術関係の ででいる現状 ででいる現状 ででいる現状

会

Z

多くて

て紹介

あるととも

観点

その

加茂川

プルテ

アランが

わ会がが国

セ 文

ŧ

1

関係者と

始し

育

よて研ののア

文化庁 芸術系大学長と初 の「懇談会」を開催

各種の施策の取組状況を報告、 大学と文化庁との連携協力の在り

を連区は携丸-がを深め の芸 術系 め 内 とす ゙゙の゙ の東京會舘本 て 大学長と る文化 意見交換を行 庁 文 全館で開 17ったのは初めて 部による意見交換 芸術系の学部 開催され た。文意 元交換を行っ めて 〈換を行ったもので、芸術系大学長と文化庁長官がは・大学院のみを有する大学の学長等と文化庁長官文化庁が芸術系全般の大学等の高等教育機関との民会」が、文化庁の主催により、7月12日に千代田 のことである



庁及び がまり、 長官の雄 また 学庁省及 が に局 つの

が関係施策

子どもを対象 長からは、 た、各大学 わらは、大 た取 K)

れ挨出 文た拶され のな研な我先 文文究っが進 化化以て国的

ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい ででいるところでござい 意見 などを開催する予定である。 う おり 今後とも様 な会を開 図るため、芸術創造活動の推進、地「文化庁におきましては、文化芸術の大学では、文化芸術の大学では、文化芸術 関との 今回の R な形で意見交換会や施策説 化財の保存と活用、芸術創造活動の推進 こざいます。上を目指し、 者からも に向け を図 シテ る つ とい 1 n いる 学校の関係 ながら、アの推進 た取組を 各種 大学等 う 推進 進など、立場をという。 0 てこの も 0

策が を国

講の文交文興

とは、いろいる化芸術活動を行 野様々なおら いる大学 にござ きておりますが、これとに、いろいろな場面 皆様 芸術活動を行う方々や地方公共団そのような施策の推進に当たりま 残念ながらと申し **野の人材養成に中心** の方々 ませんでした。 学に 、と意見 お のな面でご尽力といて、我が国のさらろんのこと、 かる立 か 係の教育や研究を行ってれまでのところ、文化庁面で意見交換などをして々や地方公共団体の方々を地方公共団体の方々 元交換を ます 7 とともに、 場として |国の文 な役割を果た 点に くことも必要 不思議 なうな機会を行って 研究活 つきま 私ども なこと て分動

し今回

かわる

学等

Ď

分育機関 意見

交換

0

場をさ

ます

ま

Ø

関材を芸が

策他の術法 をの充家に 講教実等お

スキの整理の 文化芸芸 文化芸芸

そ

れの る るー 大調国

7

教実をのおき

図成

た多て

芸術に17

係すに

の発芸

おりを受ける。



歓談する加茂川次長、 辰野文化財部長



レセプションで挨拶する河合文化庁長官



平山芸大学長、西阪芸術文化課長、河合長官、島田愛知県立芸大学長、平野金沢美術工芸大学長、中西京都市立芸術大学長



乾杯する平山 芸大学長



平山芸大学長、吉田政策課長、関伝統文化課長



五十嵐宝塚造形芸術 大学長、寺脇文化部長



池田武蔵野音楽大教授、結城文科 官、関昭和音楽大事務局長



五十嵐昭和音楽大学長、河合長官

(東京芸術大学長)
(東京芸術大学長)
(東京芸術大学長)
(京都市立芸術大学長)
(沖縄県立芸術大学長)
(沖縄県立芸術大学長) 大学長)

芸術系大学長の皆っております。本いしていただくま、芸術系大学の強め、一体となっているだく 杉出川五佐深西芳三木石大今相鎌岡立五長池平白兎高高久三上山田野十々田岡賀好村黒島榮沢田田石十尾田野澤東橋野保室野園木 喜重 貞東憲 和宏俊彦規之 (文星芸術大学長) (東邦音楽大学長) (東京音楽大学長) (東京音楽大学長) (東京音楽大学長) (東京音楽大学長) (東京音楽大学長)

大学院大学長)

尚信 郁至鏘俊國良豊知雅淳熙彦雄徹朗宏二三晴司成之夫

おが国の文化芸術面で 様方と文化庁との連携 様方と文化庁との連携

すことを祈念いたしますの文化芸術面での新たな文化庁との連携が今後深

での新たな展開が

0

きの

ことも重要ではないなった活動にも取り組みい

にアピー ただき

して、各芸術系いかと思ってお

じた芸術系

のれ

連携を強め ましても と考えており

きた